

PRESS RELEASE (当ページ含め1枚)

2012年5月24日

報道関係各位

総合病院 国保旭中央病院**「自治体立優良病院 総務大臣表彰」受賞**

～地域医療への貢献と経営の健全性が評価される～

総合病院国保旭中央病院（所在地：千葉県旭市イの1326番地 病院長：吉田 象二 [よしだしょうじ] 以下、旭中央病院）は、このたび、総務大臣より平成24年度の「自治体立優良病院」として表彰されました。全国に約1,100ある自治体病院の中から当院を含め4院が選ばれたもので、本日東京で表彰式が行われました。

この賞は、経営の健全性が確保されており、地域医療の確保に重要な役割を果たしていることなど一定の基準を満たした自治体病院を、全国自治体病院開設者協議会会長および、(社)全国自治体病院協議会会長が推薦し、推薦された病院を、総務省が「経営の健全性」、「経営努力の状況」および「地域医療に果たしている役割」の観点から再度総合的に判断して決定するもので、旭中央病院は1987年に続き2度目の受賞となります。

旭中央病院は1953年に当時の旭町（現：旭市）他8ヶ町村により開設され、現在では旭市立の公立病院として、また、千葉県東部ならびに茨城県南部を含む診療圏人口約100万人の基幹病院として、毎日約3,000人の外来患者様にご利用いただいています。再整備事業の一環として昨年建設・稼働を開始した地上12階建ての新本館では、アメニティーと効率性の向上に加え、高耐震性の基幹災害医療センター、最新の情報ネットワークを備えたインテリジェントホスピタルとして機能を一新しました。本年3月には、国の地域医療再生計画の一環として、千葉県・千葉大学との協働による「地域医療支援センター」を開設し、地域医療再生の推進ならびに地域の医療従事者の育成・研修の役割を担っています。加えて4月には、総合病院内の神経精神科としては全国トップレベルの施設と機能を持つ「こころの医療センター」を開設し、併設の訪問看護ステーションと併せて地域の精神医療の向上にも寄与しています。一方経営面においては、継続的なコスト管理と手術室の稼働率向上などのファシリティー・マネージメントの推進により、安定した財政基盤を確立しています。

病院長の吉田象二は、『当院職員一人ひとりの日々の努力と貢献が評価されたことは大変嬉しい。医療資源が乏しい当地域において当院の果たす役割は大きく、受賞を励みに今後も職員一丸となって地域基幹病院としての役割を果たしたい』と語っています。

他の受賞施設等、当表彰についての詳細は、総務省HPをご覧ください。